

事業名	山梨県ジュエリーマスター資格認定制度費	調書番号	67
細事業名	ジュエリーマスター資格認定事業費	財務コード	094101
担当部課室	産業労働 部 地域産業振興 課 宝飾・繊維	担当 (内線)	4711

事業の概要

実施期間	始期 H元 年度 ~ 終期 年度
実施主体	県(直営)
目的	だれ(何)を対象に 研磨宝飾産業に従事する技能者 ⇒ その対象をどのような状態にして 研磨宝飾に関する知識力、技術力、創造力等を審査認定することにより、資質を向上し、後継者を育成する ⇒ 結果、何に結びつけるのか 研磨宝飾業者の資質の向上を図るとともに、その社会的評価を高め、研磨宝飾業の健全な発展に寄与する
内容	<p>・事業概要 研磨宝飾産業に従事する人材の知識力、技術力、創造力等を試験により審査する。</p> <p>・ジュエリーマスター認定試験の実施 試験区分 ジュニア・ジュエリーマスター(初級)、プレ・ジュエリーマスター(中級)、ジュエリーマスター(上級) 認定委員会(年3回、委員9名)、試験実施委員会(年2回、委員18名)の開催 受験者の募集 試験問題の作成 試験の実施 合格者の判定 認定証交付式の開催</p>

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	受験者数	目標 30	40.0	45.0	55.0	50.0	45.0	50.0
	・ジュニア	実績(見込) 67	60.0	57.0	7.0	31.0	36.0	
	・プレ	達成率 223.3	150.0	126.7	12.7	62.0	80.0	
	・マスター	達成区分 a	a	a	d	c	b	
成果指標	認定者数	目標 25	30.0	30.0	35.0	35.0	30.0	30.0
	・ジュニア	実績(見込) 43	34.0	45.0	6.0	23.0	29.0	
	・プレ	達成率 172.0	113.3	150.0	17.1	65.7	96.7	
	・マスター	達成区分 a	a	a	d	c	b	
決算(予算) 単位:千円		1,093	1,097	1,009	721	811	1,203	1,207.0

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価 H28年度の目標数の算出にH27年度の実績数を含めたことから、H27年度の目標に対する実績の達成率の減少はやむを得ない。(一時的なもの) H28年度は宝飾美術専門学校(以下「宝美」という。)の学生による受験者数が増加したことから、活動量については予定どおりであった。 宝美の3年制への移行に伴うカリキュラム変更により、H27年度は受験者数が減少した 受験者数が前年度から大幅に増加した。(宝美の3年制への移行に伴うカリキュラムの変更により、宝美の2年生の受験者が増加した)、ジュエリーマスター認定委員会において、受験者数の増加に向け受験資格の改正について話し合われ、意見集約がされたことから、今後、受験者数の増加が期待できることとなった。(平成29年度当初、受験者数増加に向け制度改正を実施した。)*別紙、参照
成果指標	b	

*「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 *指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

見直しの必要性 判定 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い	説明 <input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
	説明 宝美では卒業時にジュエリーマスターの受験を勧めており、宝美における基礎教育と宝飾技能者の認定制度であるジュエリーマスター制度により、日本一の研磨宝飾産地やまなしの人材育成を行っている。
有効性(成果向上) 判定 <input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない	説明 研磨宝飾業に従事する者の業務に必要な知識、技術及び技能に関し、その程度を審査し認定することにより、研磨宝飾従事者の資質の向上を図り社会的評価を高める。
見直しの余地 判定 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない	説明 <input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()
	説明 その他
見直しの必要性 有	プレ及びマスターの受験者増加につながる制度改正を実施し効果を見極める必要がある。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

改善済み	説明 今年度、プレ及びマスターの受験者増加につながる経験年数の短縮等の制度改正を実施。
------	--

*見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しが無い場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。